

今日、なお未解明のBC級戦犯の実態を、新発見資料等により再現する……

BC級戦犯関係 資料集成 全15巻完結！

全15巻 揃本体価格100,000円

茶園義男 編・解説

戦時教育研究家（元文部教官教授・哲学）

不二出版(株)

〒113 東京都文京区向丘1-2-12

TEL03(3812)4433 FAX03(3812)4464

（BC級戦犯関係資料集成）一覧表

本パンフレットの価格は、消費税を含んでおりません。

法廷別	図書名（①～⑮）	全てB5判・上製函入・196～306ページ・価格は本体価格
米軍法廷	③BC級戦犯横浜裁判資料 6,800円	⑤BC級戦犯米軍マニラ裁判資料 5,800円 ⑪BC級戦犯米軍上海等裁判資料 6,800円
豪軍法廷	⑫BC級戦犯豪軍ラバウル裁判資料 6,800円	⑬BC級戦犯豪軍マヌス等裁判資料 6,800円
中国法廷	②BC級戦犯軍事法廷資料—広東編 4,800円	⑭BC級戦犯中国・仏国裁判資料 9,800円
仏軍裁判	⑭BC級戦犯中国・仏国裁判資料 9,800円	
オランダ裁判	⑮BC級戦犯和蘭裁判資料・全巻通覧 9,800円	
フィリピン裁判	⑧BC級戦犯フィリピン裁判資料 5,800円	
英軍法廷	⑨BC級戦犯英軍裁判資料(上) 6,800円	⑩BC級戦犯英軍裁判資料(下) 5,800円
その他	①日本BC級戦犯資料 5,800円	⑥大日本帝国内地俘虜収容所 6,800円
	④巢鴨プリズン・シベリア日本新聞 4,800円	⑦大東亜戦下外地俘虜収容所 6,800円

日本BCC級 戦犯資料

○B5判・二四四頁・上製函入
○本体価格五、八〇〇円

BCC級戦犯に関する原資料は極めて少ない中であつて、偶然もち帰ることが出来た「軍事法廷起訴状」、「判決文」等を復刻。また、獄中における手記・遺書も原文のまま再現する。どちらも極めて稀覯的価値の高いもの。

昭和27年10月28日
調査人員 729名(総員 818名)

調 査 地 区 別 階 級 別 身 分 別 階 級 別 調 査 地 区 別 階 級 別 身 分 別 階 級 別

階級	米 國	和 蘭	英 國	佛 國	濠 洲	合 計
I 陸軍軍人	229	133	74	38	44	468
(1) 将官	14	1	1	0	0	16
(2) 佐官	44	8	12	3	0	67
(3) 尉官	85	27	21	10	1	144
(4) 准尉	8	12	6	3	0	29
(5) 下士官	47	82	30	20	1	181
(6) 兵	21	3	4	2	2	32
II 海軍軍人	64	26	9	0	11	110

17	戦争犯罪人に対する恩典附与(GHO文書)	179
16	〔菓鴨委員会〕菓鴨在所者実態調査表	166
15	BCC級戦犯について(戦犯受刑者世話会編)	153
14	〔解 説〕	4
13	シソガポール英軍事法廷起訴状(沼田真蔵)	12
12	沼田真蔵事件証拠の概要	13
11	廣州中国軍事法廷起訴状(北島勝市)	14
10	北島勝市第一回判決書	17
9	北島勝市無罪判決書	21
8	石村権谷帰国時の国際種痘証明	23
7	シソガポール・オートラム監獄日課(石村権谷メモ)	24
6	戦犯特捜惣万蔵雄(英軍伍長)復員証明書	25
5	惣万蔵雄帰国時の英軍給与物資証明書	26
4	公職追放(指定理由取消書)(阪井武保)	27
3	菓鴨刑務所一時出所証書(沼田真蔵)	28
2	菓鴨刑務所出所証明書(沼田真蔵)	29
1	小田大尉・塩田中尉の最後(救護師・安達本識筆)	30
	在菓鴨広島県人会刊「試煉のアルバム」	66
	すがもの歌/世紀の門/すがものメモから/フリーユー・ブロック/パロール制度発表	
	上海・江湾境南側戦犯監獄/ジャワ・チビナン刑務所/スマトラ・メダン第二刑務所	
	同第一刑務所/同メダン刑場/同サバン収容所/ハルマヘラ・モロタイ収容所全景	
	蘭領ボルネオ・バンヂエラマンシン収容所/セレベス・マカッサル・マンガイ収容所	
	シソガポール・チャンギー刑務所/西貢・チーホア軍事刑務所/香港・スタンレー収容所	
	ラングーン・ビルマ中央刑務所支門/グアム島戦犯収容所	
	比島モンテニルバ・ニュービリティ刑務所	
	各地戦犯監獄で受けた待遇	
	〔菓鴨在所者各国別刑罰別人員表・同年齢調/同事件調/同旧身分階級調/同服役年数調/同仮出所資格者調・同資格発生後経過年数調/菓鴨在所者家庭状況調/同各国別戦犯裁判実情調/各国地区別戦犯刑死者数一覧表	
	戦争犯罪人に対する恩典附与(GHO文書)	179
	すがも新聞(第一六七号)	181
	木村久夫遺書	185
	弘田栄治遺文	186
	本村章獄中記録より「バンワン刑務所内囚」	190
	沼田真蔵獄中記録より	191
	①チャンギー監獄水道関係図 ②チャンギー死体埋葬地	
	③チャンギー監獄略地図 ④真実を告ぐ	
23	網倉都一獄中記録「昭和二十二年三月二十六日昇天状況」解説	194
24	渡辺千代吉獄中記録「原田中将昇天状況」	197
25	渡辺千代吉獄中記録「原田中将・英国民に告ぐ」	203
26	網倉都一獄中記録「昭和二十一年三月以降昇天辞世並遺作集・折冥福」(附録)B・C級戦犯に関する若干の問題(茶園義男)	209

連合国最高司令官総司令部
一九五〇年三月七日回章第五号
戦争犯罪人に対する恩典附与

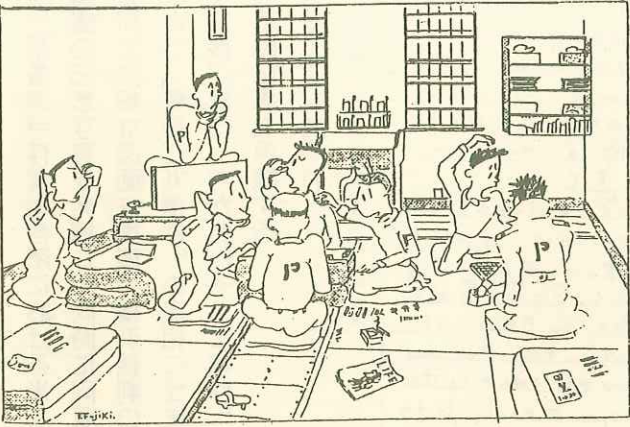
目的
本回章は、現在又は今後日本において服役するすべての戦争犯罪人に適用すべき拘留期間の特典 (confinement credits)、善行特典 (good time credits) 及び直奮仮出所 (parole) に関する統一的制度を設定するものである。

BC級戦犯 軍事法廷資料 広東編

。B5判・一九六頁・上製函入
。本体価格四、八〇〇円

広東（広州）裁判の被告全員の内容と判決・刑の執行を示す一覧表を掲載。また、広東裁判の軍事法廷判決、及びそれに対する陳情書等を原文のまま再現。特に宮崎修司氏広東獄中記録は当時の状況をよく物語っている。

★広東裁判一覧表付



広東裁判一覧表

案件番号	起訴理由概要	所属階級	本籍	氏名	判決	執行	追記	手続人
10	山頭兵団副團長として昭和二十一年七月山頭市内に侵入しありし中国軍一六八師隊遺棄物情報所主任郭偉傑の結果必死命令により終戦と知りつゝ八月十六日不法に処分せり執行首補山頭兵山崎軍曹松永は憲兵隊長として責任を認め死刑を宣告し、取調官所長共不在証明成立せし吉川は松永不在同隊長代理責任	憲兵	大分	松本 吉司	死刑	執行	22.7.14	黄 海 明
		軍曹	兵庫	吉 保	死刑	執行	22.11.25	
		軍曹	山形	黒 司	無罪	執行	22.11.25	

〔解説〕……………5

1 広東法廷刑死者記録（松久保正信）……………11

（イ）死亡者名簿……………12

（ロ）「流花橋」戦犯刑死者墓地一般要図……………14

（ハ）「北較場」戦犯刑死者墓地一般要図……………16

（ニ）死没者遺詠集……………16

（ホ）墓参許可の新聞報道記事……………25

2 松久保正信戦犯法廷文書……………28

（イ）国民政府主席広州行轅審判戦犯軍事法廷軍法檢察官起訴書（華文）……………32

（ロ）同法廷判決（華文・死刑）……………36

（ハ）右判決（邦文）……………43

（ニ）弁訴書（華文）……………45

（ロ）判決ニ対スル陳情書（邦文）……………45

（ハ）証言依頼状（華文）……………54

（ロ）同（邦文）……………56

（ハ）同（英文）……………58

（イ）軍事法廷判決（復審・無罪）……………59

3 松久保正信軍歴……………65

（イ）自筆軍歴書……………65

（ロ）従軍証明書（南支派遣憲兵隊長発給）……………68

（ハ）予備役編入名簿（第二十三軍司令官発給）……………69

（ニ）退去証明書（上海市徴用日籍技術員工連絡所発給）……………70

4 広東方面殉国烈士追悼集「白雲山と流花橋」（抜粋）……………71

（イ）主要項目／吉川曹長を悼む／陳情書／遺書／田中将軍の思出／華南地区戦犯の状況／白雲山と流花橋……………94

5 宮崎修司広東獄中記録……………106

6 北島勝市獄中筆写遺詠・遺書集……………118

7 北島勝市広東法廷裁判・起訴書邦訳文……………123

8 印度人捕虜虐待事件に関する嘆願書（末尾欠）……………128

9 広東から上海監獄を経て果嶋へ……………129

（イ）上海江湾鎮高境廟戦犯監獄遺景……………130

（ロ）「すがも新聞」記事「中国戦犯と果嶋教育」……………131

（ハ）同「支那の監獄」……………132

（ニ）果嶋プリズン獄房図（宮崎修司・画）……………133

（ホ）収容者に対する軍医の手紙（英・邦両文）……………132

（ヘ）果嶋のプロファイル——漫画と風景……………131

10 果嶋プリズン釈放……………142

（イ）宮崎修司釈放前二カ月の日記……………156

（ロ）釈放祝・すがも新聞社員寄書……………156

11 昭和28年比島モンテンルバ・濠洲マヌス島・果嶋プリズン戦争受刑者名簿……………167

12 戦争裁判の表情……………169

（イ）終戦後の広東地区におけるいわゆる戦犯裁判の表情について……………173

（ロ）基本的法概念の破壊と滅却……………167

13 広東裁判一覧表……………173

茶園義男

BC級戦犯 横浜裁判資料

・B5判・二六〇頁・上製函入
・本体価格六、八〇〇円

香川県善通寺俘虜收容所における米人捕虜の記念写真を発掘し、同時に同收容所の詳細な図面を再現。横浜裁判のひとつ「鴨緑江丸事件」の真相にせまる文書、また「おかわいそくに事件」の新聞記事を再録する。

★横浜裁判一覧表付

被告都子野大尉獄中翻訳全文（同大尉自筆）

連合軍最高司令部 (香子野大尉)

軍令文第13号 昭和23年7月24日

元日本帝國陸軍中尉 JUNSABURO, TOSHINO

犯罪理由 元日本帝國陸軍中尉がシベリアにシベリア人、米囚並、其聯合國囚を謀略偵察、日本國ト交戦期了中ニテ送付ナル罪状項目書中ニ掲ケタル時及場所、於テ戦争法規並ニ戦争慣習ニ違反セリ

罪状項目 昭和19年12月13日及15日ニ於テ日本國海軍船"ORYOKO MARU"ニテ被告 JUNSABURO TOSHINO 約1619名、米囚並、連合國俘虜、誘導指揮官トシテ故意且不法ニ虐待及凌辱ヲ加ヘテ極度、精神的不安及肉体的苦痛、健康障害及死亡、原因ヲ生シタリ 即チ John P. Adams 中佐、Wesley W. Beatty 少佐、Arden R. Boellner 中佐、Lawrence A. Brantath 少佐、Edward H. Brown 中佐、John D. Brettell 中佐、James V. Bradley 少佐、Jasper E. Brady 少佐

© 米英豪軍人之墓 (拓本)



在香川県善通寺市旧陸軍墓地・花崗岩方柱碑 (碑面65cm×30cm)

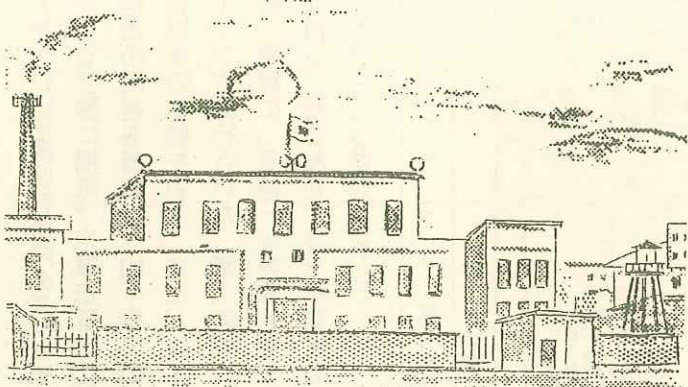
解説	茶園・戦争裁判概要表 (横浜裁判編)..... 21	茶園義男
(1)	地獄船「鴨緑江丸」事件の真相..... 29	
(2)	a GHQ軍法命令書第13号 (死刑執行) 英文・冒頭..... 29	
	b 同・被告都子野大尉獄中翻訳全文 (同大尉自筆)..... 30	
	c 俘虜護送指揮官・都子野大尉自筆経歴書 (同)..... 48	
	d 鴨緑江丸遭難の表情 (同)..... 49	
	e 同大尉・真の遺書 妻に頼む心・娘に生きて (同)..... 56	
	f リスポン九撃沈 新聞報道記事..... 58	
(3)	善通寺俘虜收容所 (広島俘収第一分所) の記録..... 59	
	a 銃を握った俘虜の記念写真 (新聞報道記事)..... 59	
	b 善通寺俘虜関係図..... 60	
	c 米英豪軍人之墓 (拓本)..... 62	
	d 日課時限表・月行事予定表..... 64	
	e 米第8軍軍法命令書第89号 (英文・細谷分所長に対するもの)..... 66	
(4)	新居浜俘虜收容所 (広島俘収第二分所) の記録..... 77	
	a 新居浜俘虜收容所概要図・星越俘虜工場図..... 77	
	b 同俘収・山根收容所構内図..... 78	
	c 俘虜工場 (住友金属鉱山星越工場 監督の手帳)..... 79	
	。俘虜概要 79	
	。就業時間 80	
	。給与 80	
	。俘虜全名簿 82	
(5)	終戦時文書..... 93	
	a 陸軍省俘虜管理部長「俘虜引渡二関スル件」..... 93	
	b 旭川師管区兵務部長「軍事教官服務二関スル件」..... 94	
(6)	「おかわいそくに」事件の真相..... 96	
(7)	陸戦ノ法規慣例ニ関スル条約 (原文)..... 98	
	a 詔書..... 98	
(8)	戦争犯罪被告人裁判規程 (英文・和文)..... 99	
(9)	横浜裁判一覧表..... 116	
(10)	果鴨プリズン芸能の記録..... 126	
	a 高い窓 (原稿)..... 240	
	b すがもの歌 (プリント)..... 240	
	c 果鴨よさようなら (プリント)..... 245	
	d 演芸・芸能プログラム (プリント) 9枚..... 246	
	e 「幽囚の曲」 戦犯歌謡曲集..... 251	
(11)	日本側BC級戦犯資料について (参考)..... 253	
	a 法務省資料収集依頼書 (昭31)..... 253	
	b 奥野法務大臣回答 (私信・昭56)..... 254	
	c 法務省・法務大臣官房司法法制調査部回答文書 (昭56)..... 255	

巣鴨プリズン

シベ日本新聞

・B5判・二四六頁・上製函入
・本体価格四、八〇〇円

A級戦犯のみならず、外地BC級戦犯のうち内地移送者が入った「巣鴨」の全記録。「茶園・巣鴨プリズン小史」は詳細な資料に基く年表である。シベリアにおける戦犯が毎日熟読したという日本語の新聞『日本新聞』と、全ソ連のラーゲル所在地概要図を示す。



正面 巣鴨



読み終つたあとは無事にせよ次々に回覧して来たかたがたに開かされたら

天皇の放送は反動勢力擁護 人民の反感極に

天皇制官僚に国民的餓死救済

「アタリ」元帥の干渉並に吉田政権の成立以来之に伴ふ政局の激変に對して動員大衆の間には下から上へ力以て人民解放統一運動が活発化した。一方四日天皇は突如のラジオ演説をなさる。形勢は遂に活発化した。近々全国的な反政府闘争を通じて天皇の御座を揺るがす。十九日の天皇陛下のラジオ演説に對する回答として演説化した。國民の動向を察せんとして反動勢力の直接的擁護に乗り出すに至つたが、之と同時に東京放送は

茶園・巣鴨プリズン小史

- (一) 巣鴨プリズン全景……………31
 - (二) 巣鴨プリズン跡現況……………32
 - (三) 発見された巣鴨刑場13号鉄扉 (東京新聞報道写真)……………33
 - (四) 戦犯死刑囚の記憶 (飛田時雄・保田直文)……………34
 - (五) 特設絞首台と従来の処刑室……………35
 - (六) 身代地蔵尊開眼・供養札 (昭28・3・24)……………38
 - (七) 配食風景 (太田正孝「すかも」より)……………39
 - (八) スガモの食器ほか (米軍撮影写真)……………40
 - (九) 巣鴨プリズン風景 (飛田時雄画)……………41
 - (一〇) 巣鴨プリズン配食の図 (飛田時雄画)……………44
 - (一一) 戦犯三将軍 (東條・土肥原・本間) 大森道筆……………48
 - (一二) 四国復員監部文書 (歎願書の提出に就て)……………50
 - (一三) 広島地方世話部文書 (戦争責任者弁護に就て)……………52
 - (一四) 終連大田参事官室文書 (差入・面会制限)……………53
 - (一五) 終連戦犯事務室文書 (昭21・11・27)……………55
 - (一六) 監房内持込品明細表 (英文・昭21・12・10)……………56
 - (一七) スガモプリズン・重労働 (宗廣源一)……………57
 - (一八) スガモプリズン作業日報 (英文)……………58
 - (一九) スガモプリズン作業指示書 (英文)……………59
 - (二〇) 百五十字制限通信 (昭22・10・9)……………60
 - (二一) 井田盤楠 (元貴族院議員・男爵) 釈放後の私信 (昭22・9・7)……………61
 - (二二) 巣鴨拘留者府県別人員表 (昭23・12・20)……………63
 - (二三) 昭和24年正月・スガモ献立 (宗廣源一)……………64
 - (二四) 鬼気迫る第五棟 (死刑・終身・最長期囚徒) 名簿 (昭24)……………66
 - (二五) スガモプリズン教育環境……………67
 - (二六) すかも新聞社員名簿 (b) 農耕班資料 / (c) 歌壇資料……………71
 - (二七) スガモA級・BC級交歓日記 (宗廣源一)……………77
 - (二八) 居房制当指示書 (英文・郵便書記用)……………81
 - (二九) 刑期算定嘆願書 (下書き・宗廣源一)……………84
 - (三〇) A級戦犯 (小磯・重光・智屋・嶋田・大島) 獄中私信……………92
 - (三一) 法道連第五号「巣鴨における服役について」 (仮出所制)……………95
 - (三二) 内地戦犯解放通知書 (徳島県民生部世話課長・昭25)……………96
 - (三三) 英領地区帰還者名簿 (昭26・「すかも新聞」附録)……………98
 - (三四) 米政府の抗議を受けた改正法律第四号 (昭28・官報抄録)……………99
 - (三五) 英国戦犯関係刑期起算日変更通知書……………101
 - (三六) スガモ拘禁五五四日間の食事日誌 (近藤一夫)……………101
- ※日本新聞資料
- (一) ソ連抑留の「日本新聞」公開 (徳島新聞記事)……………142
 - (二) (a) 日本新聞 (一九四五・一一・二十九)……………144
 - (b) 日本新聞 (一九四五・一二・十三)……………148
 - (c) 日本新聞 (一九四五・一二・二十九)……………152
 - (d) 日本新聞 (一九四六・五・十八)……………156
 - (e) 日本新聞 (一九四六・五・二十八)……………164
 - (f) 日本新聞 (一九四六・五・三十)……………172
 - (g) 日本新聞 (一九四六・七・三十)……………180
 - (h) 日本新聞 (一九四六・八・二)……………188
 - (i) 日本新聞 (一九四六・十一・十四)……………196
 - (j) 日本新聞革命記念号附録 (一九四六・十一・七)……………204
 - (三) ソ連・ラーゲル所在地概要図・茶園作製 (資料照合)……………208
 - (四) 第三ラーゲル第11分所設新聞第15号 (松尾市次郎・作)……………210
 - (五) (a) 壁新聞復元図 / (b) 壁新聞を書かされて……………213
 - (六) 「日本新聞」漫景録 (渡辺由蔵)……………218
 - (七) 洗濯・労働・栄養……………222
 - (八) 私の体験したシベリア民主運動 (藤井昌造)……………230
 - (九) 「ソ連」の作業「ノルマ」制度について (真本正夫)……………235
 - (一〇) ソ連引揚者の栄養調査 (昭22)……………240
 - (一一) ソ連引揚者の体力医学的検討 (昭23)……………240
 - (一二) シベリア呼喚通信……………240
 - (一三) (a) ドルミン收容所だより (鈴木隆) (b) ライチーハ收容所だより (船奥勇)……………240
 - (一四) 満洲第六七三部隊 (石井細部部隊孫兵支那) 兵士引揚証明書 (船奥勇)……………240
 - (一五) スーチャン将校收容所概要 (国立公文書館・米國返還文書)……………240

BCC級戦犯 米軍裁判資料 マニラ

。B5判・二六四頁・上製函入
。本体価格五、八〇〇円

カンルバン俘虜収容所内のスケッチをカラーで巻頭に掲載。米軍法廷と比国法廷との関連を解説し、山下奉文のB-15以後の足跡を追う。また、レイテキヤンプで発行された『曙光新聞』を複製、附録に「茶園・戦争裁判概要志」を付し、戦犯裁判全体を概観する。

★米軍・マニラ裁判概見表付

茶園・マニラ軍事裁判

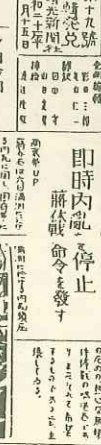
番号	姓 名	判決年月日	処刑年月日	刑 刑 地	米 軍 事 裁
39	山下 泰文	20 12 7	20 12 13	×	33
38	森本 勇	12 13			
37	鶴山 巖太郎				
36	河合 竹男				
35	大田 清一	21 1 5			
34	東地 琢磨	1 7			
33	小林 正一	2 1			
32	田島 彦太郎	2 1			
31	並木 朝雄	2 9			
30	橋 政雄	2 9			
29	本間 雅春	2 11			
28	吉岡 信	2 18			
27	奥田 福徳				
26	黒谷 義彰				
25	萩野 京光				
24	向井 加賀次郎				
23	豊永 綱雄	2 28			
22	藤重 正徳	3 20			
21	内藤 殊夫	3 28			
20	大野 善一	3 12			
19	上原 善一				
18	長浜 彰				
17	長浜 彰				
16	豊永 綱雄				
15	向井 加賀次郎				
14	黒谷 義彰				
13	萩野 京光				
12	奥田 福徳				
11	吉岡 信				
10	本間 雅春				
9	橋 政雄				
8	並木 朝雄				
7	田島 彦太郎				
6	小林 正一				
5	東地 琢磨				
4	大田 清一				
3	河合 竹男				
2	森本 勇				
1	山下 泰文				
39	吉田 忠志	9 1	13		
38	三上 幸衛	6 6	13		
37	戸塚 良二	?			
36	佐々木 順二	5 5			
35	吉田 徳次郎	5 29			
34	中村 武夫	4 4			
33	林 金隆	4 18			
32	小野 哲	4 24			
31	洪 思翊	4 18			
30	増山 正士				
29	川野 幸雄				
28	村田 正義				
27	川辺 久雄				
26	阿部 渡				
25	杉本 正徳	4 10			
24	田布 尾正則	21 4 5			
23	内藤 殊夫	3 28			
22	大野 善一	3 12			
21	長浜 彰				
20	長浜 彰				
19	上原 善一				
18	大野 善一				
17	長浜 彰				
16	豊永 綱雄				
15	向井 加賀次郎				
14	黒谷 義彰				
13	萩野 京光				
12	奥田 福徳				
11	吉岡 信				
10	本間 雅春				
9	橋 政雄				
8	並木 朝雄				
7	田島 彦太郎				
6	小林 正一				
5	東地 琢磨				
4	大田 清一				
3	河合 竹男				
2	森本 勇				
1	山下 泰文				

- 巻頭→写真(カラー写真)
- 米軍マニラ軍事法廷の表情
- (一) フイリピン群島地名要図(主要資料照合)
- (二) 開戦一年・輝く大戦果(朝日新聞 昭17・12・8)
- (三) 本間雅晴作「比島派遣軍の歌」(作曲・信時潔)
- (四) 「マニラ新聞」(昭18・10・14、昭20・1・17)
- (五) 日本陸軍戦力喪失一覽図・比島中心(復員庁資料)
- (六) 生死不明者戦死認定理由書(梅家園)
- (七) 比島に於ける日本軍衛生部隊調査表(三崎軍医中佐分)
- (八) 「落下傘ニュース」のころ(梅家園一書記)
- (九) 山下大将・終戦一校首台まで
- (一〇) 武藤参謀長遺言(大和基地の山下將軍を詠む)
- (一一) 米軍マニラ法廷・マンダラヨング収容所要図
- (一二) ニュービリティット監獄(モンテンルバ近郊)全景
- (一三) ソン島俘虜病院・得官収容所(ニュービリティット時代)要図(茶園作成)
- (一四) 米軍機投下の「落下傘ニュース」と宣伝ビラ
- (一五) 比島俘虜 POW番号票等(坂田衛生見士)
- (一六) 大戦末期比島にあった陸軍得官名簿(長野為義調査)
- (一七) ルバウ「LUBAU」(カンルバン俘虜収容所 病院関係要図(巻頭写真照合)
- (一八) 幕舎ニュース・特集「戦争犯罪者」
- (一九) ルバウ「LUBAU」(カンルバン俘虜収容所 第一・第四キャンプ要図)
- (二〇) クラーク俘虜収容所概要図
- (二一) クラーク収容所「故郷を偲ぶ放送の夕」案内ビラ
- (二二) クラーク収容所「新線文芸」(抜粋)
- (二三) クラーク収容所俘虜郵便(往信・返信)
- (二四) フィリピンにおける「戦捕虜書」(未使用)
- (二五) 戦争犯罪潔白「クリアー conscience」証明書
- (二六) パロ第一キャンプ・タクロバン海岸キャンプ概要図
- (二七) レイテ俘虜収容所「曙光新聞」資料
- (二八) 無実に逝った橋憲兵少尉(起訴時准尉)資料
- (二九) 妻光子宛書状 ⑩叔父宛書状(表書) ⑪獄中、故郷の住所メモ
- (三〇) ⑫元帥宛嘆願書 ⑬元帥指示書 ⑭橋辞世(遺品の手帳より)
- (三一) 「戦争犯罪人裁判規定」(一九四五・九二四(英文・和文))
- (三二) 米軍マニラ裁判概況(原本「戦犯裁判の実相」より)
- (三三) 一、戦犯容疑者の捜査逮捕
- (三四) 二、未決拘留中の取扱い
- (三五) 三、被疑事件の捜査・取調へ
- (三六) 四、起訴
- (三七) 五、公判裁判
- (三八) ①軍事委員会の構成及態度 ②検察官側の作為 ③弁護人の形式性 ④判決
- (三九) 六、再審
- (四〇) 七、裁判に於いて不利を招いた特殊事情
- (四一) (1)武藤中將の訓示 (2)某法務大佐の陳述書 (3)その他の特殊事情(イ)
- (四二) (三) 米軍・マニラ裁判記録概見表
- (四三) マニラ裁判判決(軍事委員会命令)一英・和文
- (四四) ① 陸軍大将山下奉文(訳・吉田景保)
- (四五) ② 陸軍中將本間雅晴(同右)
- (四六) ③ 同 洪思翊(訳・長野泰子) ④付・洪中將軍歴概要
- (四七) ⑤ 陸軍准尉橋政雄(訳・服部達朗)
- (四八) ⑥ 陸軍軍曹渡辺 敏(訳・熊井敏美)
- (四九) ⑦ 正すところ(戦争裁判批判)
- (五〇) ⑧ 山下裁判に対する米最高裁・マニラ判事の反対意見(付・台衆国憲法修正簡条抜粋)
- (五一) ⑨ E・K・ティエンポ・アキラは法律書を認めない一抄録(訳文)
- (五二) 米情報部発行(昭和二十年六月)「マニラの残虐」
- (五三) ベトナムにおけるアメリカの戦争犯罪
- (五四) 録 茶園・戦争裁判概要志(国立阿南高等一研究紀要)所載



日本は革命を望まず
マツカサカイ 言明

衆議院
昭和二十年六月十五日



即時内戦停止
命を殺す

衆議院
昭和二十年六月十五日

大日本帝国

内地 俘虜收容所

。B5判・二七八頁・上製函入
。本体価格六、八〇〇円

日本内地に存在した俘虜收容所の全容を統計数字を基に初めて示し、俘虜労働の実態を解明す。また、俘虜関係の法規を集成し、旧日本軍の外国人俘虜取りあつかいの問題に戦犯裁判の争点のひとつにせまる資料。

東京俘虜收容所(一)

Table with columns for Nationality (国籍), Location (別), and various categories of POWs (士官, 准士官以下, 非軍人, 計). Rows include USA, UK, Australia, etc.

戦時内地俘虜收容所位置及び収容人員表

Table listing POW camps in various regions (前線, 仙, 京, 分所, 名古屋) with columns for camp name, location, and personnel count.

- (一) 大東亜・日清・日露戦争宣戦詔書
(二) 太平洋戦争下日本内地俘虜収容所調査表
(三) 終戦時内地俘虜各本・分・分遣所別明細表
(四) 正式俘虜(捕獲ヨリ)収容所令ニ依ル俘虜收容所ニ収容サレ
(五) 俘虜情報局統計表(昭20・6・30)
(六) 明治・大正期俘虜関係法規
(七) 「国際公法上軍隊安全の権を論ず」(昭28・雑誌「太陽」)
(八) 昭和期俘虜関係法規
(九) 内地俘虜收容所(本所)歴代所長名表
(一〇) 内地に於ける俘虜労働概況見本
(一一) 内地俘虜収容沿革概要・派遣労働先一覧表
(一二) 「大東亜戦争と俘虜取扱問題」(昭17・「外交時報」)
(一三) 電信第三三七二号「朝日新聞」掲載記事「関スル件」(ベルン・徳永代理公使「東郷外相宛」)
(一四) 「打撃せよ心中の」米國「大本營陸軍報道部員・中佐秋山邦雄」
(一五) 「西洋は野蠻ぢや」(情報局官房第二課長・竹本孫一)
(一六) 「帝國の公正」米英の悪虐(朝日新聞・昭18・4・12)
(一七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(一八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(一九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(二九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(三九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(四九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(五九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(六九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(七九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(八九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九一) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九二) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九三) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九四) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九五) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九六) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九七) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九八) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(九九) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示
(一〇〇) 米國政府の対日抗議十八箇條及其例示

大東亜戦下

外地 俘虜收容所

。B5判・二八〇頁・上製函入
。本体価格六、八〇〇円

十五年戦争下、日本占領地における連
合国軍俘虜の実態を、俘虜情報局刊行
の『俘虜取扱の記録』（昭30）によっ
て解明し、あわせて当時の新聞記事よ
り、その実情を伝える。また俘虜関係
法規類を一覧表にし復刻する。

俘虜・軍抑留者関係法規通達目録
（）終戦時有効法規類

Table listing various regulations and documents related to POWs, including items like '俘虜取扱の記録' and '軍抑留者関係法規通達目録'.

はしがきII 俘虜收容所概観 12
(一) 俘虜移管概要表 (昭17・20) 12
(二) 外地俘虜收容所 (本所 歴代所長名表 14
外地俘虜收容所一覽表 15
(三) 外地俘虜收容所一覽表 15
(四) 俘虜国籍別・階級別人員表 (含内地俘虜) 23
(五) 俘虜收容所職員及び配置人員表 (含内地俘虜) 25
(六) 俘虜解放人員一覽表 (含内地俘虜) 26
(七) 外地に於ける俘虜労務概見表 (昭17・20) 28
(八) 俘虜死亡者收容所別一覽表 (含内地俘虜) 35
(九) 各收容所別被爆状況一覽表 (含内地俘虜) 37
(十) 外地俘虜引渡一覽表 (除奉天) 40
(十一) 軍抑留者関係資料 (外地) 41
(一) 軍抑留者收容人員表 / (二) 同釈放人員表 / (三) 軍抑留者別・男女別死亡者人員表 / (四) 軍抑留者引渡実施表
(三) 外地俘虜收容所一覽表 (俘虜情報局・昭二〇・六・三〇) 50
(三) 大東亜戦争下俘虜に関する新聞報道 53
(四) 「俘虜二十一萬」(昭17・時局情報) 55
(五) 普通寺俘収栄養研究 99
(六) PRISONER OF WAR CAMP NUTRITION STUDY (S. A. GOLDBLITH) / (七) 訳文 (服部達朗) / (八) コールドブリス氏について 99
(六) 日本軍・俘虜・民間人糧食比較 107
(七) 食糧配給二関スル件 (昭18・徳島県見能村長) 109
(八) 栄養関係戦時国民生活最低基準 (昭20・四月) 110
(九) 俘虜・軍抑留者関係法規通達目録 113
(十) 終戦時俘虜関係法規類 (含戦後法規補遺) —— 八十五件 119
(十一) 陸・海軍刑法 (俘虜条項抜粋)・軍律 (二例) 152
(十二) 太平洋戦中陸軍軍法会議処罰俘虜一覽表 154
(十三) 戦陣訓 (昭16・陸訓第1号) 155
(十四) 俘虜二関スル教訓 (昭16・閣参教資料第29号) 161
(十五) 空襲時捕獲セル敵搭乗員及撃墜敵機取扱二関スル件 (東軍参警第五〇五号 新資料) 171
(十六) 撃墜敵機及敵死傷者等ノ処理二関スル件 (福東参警第一八号 新資料) 175
(十七) 撃墜米軍機 (B29) の遺品「爆撃メモ」(新資料) 181
(十八) 朝鮮俘虜收容所関係資料 183
(一) 朝鮮俘虜取扱概略 / (二) 朝鮮俘虜労役規定 / (三) 英人俘虜の収容に伴う一般民衆の反響 / (四) 朝鮮軍・台湾軍への俘虜配置收容文書 188
(一) 台湾俘虜收容所・酒保券 190
(二) 日語表示券 / (三) 英語表示券 191
(三) 参考・奉天俘虜收容所 (俘虜宛郵便・地図等) 191
(四) 昭20年・奉天俘虜視察記 (國際赤十字派遣員M・ジュノー・丸山幹正訳) 191
(五) 泰俘虜收容所調査 (含通旬側俘収) 200
(六) 俘虜患者調査表 / (七) 俘虜死亡者調査表 204
(八) 俘虜ノ待遇二関スルル一九一九年七月二七日ノ条約 (御批准方奏請ニ関スル件回答 (昭九・海軍次官) 207
(九) ジェネーブ条約 (一九一九・七・二七・俘虜待遇) 等恪守の件 207
(一) 外務次官文書 (昭17・1・13) / (二) 米國政府申入れに関するスミス公使文書 (一九四一・二・二七・仏文) / (三) 東郷外務大臣回答 (昭17・1・29 和・仏文) 215
(四) 宗職者たる俘虜・抑留者の待遇改善に関する記録 215
(一) 外務省在敵國居留民関係事務室文書 (昭18・9・22) / (二) 赤十字國際委員會外務大臣宛文書 (一九四三・七・一四 英文) / (三) 俘虜情報局回答文書 (昭18・10・22) / (四) 外務大臣回答文書 (昭18・11・15) / (五) 同英文訳文 (一九四三・一・一五) 215
(五) 戦争法規概観 (構川伸等) 232
(一) 中国人 (俘虜・帰順兵・一般) 内地進行関係資料 232
(一) 華人勞務者内地移入ニ関スル件 (昭17・閣議決定) / (二) 華人勞務者内地移入ノ促進ニ関スル件 (昭19・次官會議) / (三) 華人勞務者対日供出実施綱目 (昭19・華北勞工協會) / (四) 華人勞務者災害扶助規程 / (五) 華人勞働者名簿 (含・滞邦並労働従事許可願) / (六) 作業所別中国人強制連行者数 / (七) 中国人勞務者死没名簿 (別子鉱山) / (八) 華人勞務者捕虜取扱要領 232
(六) 戦犯・俘虜関係具体資料 241
(一) 準A級戦犯裁判位置 (丸の内・三菱仲十一号館) / (二) 海軍管轄大船俘虜收容所 / (三) 普通寺俘虜收容所 / (四) 新居浜俘虜收容所 / (五) 向島・因島俘虜收容所 / (六) 俘虜勤務表 (日立造船・昭和20年8月) / (七) 広島俘虜收容所・本所 / (八) 大森俘収・品川俘虜病院 / (九) 俘虜患者カルテ (受診・昭一七・二・二五) / (一〇) 函館・室蘭俘虜收容所 / (一一) 俘虜埋火葬許可書 (昭和一八・八・二二) / (一二) 「ラジオ聴取者の某」から 241
(一) 及び (二) は、人權保護上姓名秘匿 241
(三) 終戦直後 274
(一) 内務省宛照会文書 (朝日新聞東京本社) / (二) 内務省返電原稿 274

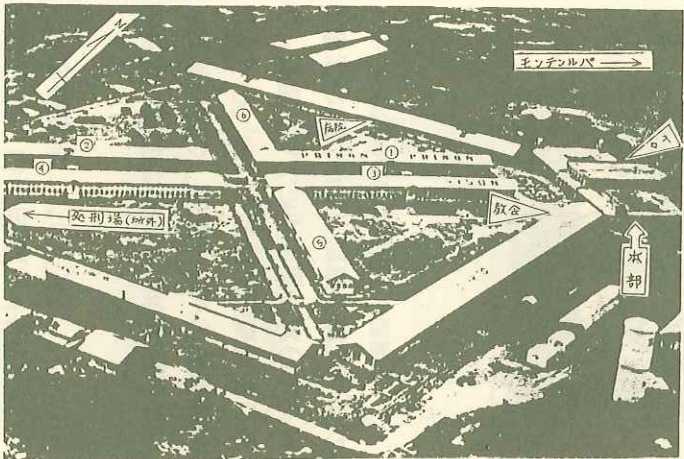
BC級戦犯 フィリピン裁判資料

。B5判・二六四頁・上製函入
。本体価格五、八〇〇円

本資料集成⑤との関連を述べつつ、モンテンルパ刑務所の写真・詳細図を付す。また、モンテンルパの会などの「獄中記録」の資料提供を受け、手記等による戦犯の生活実態にせまり、彼等の心理面をも解明する。

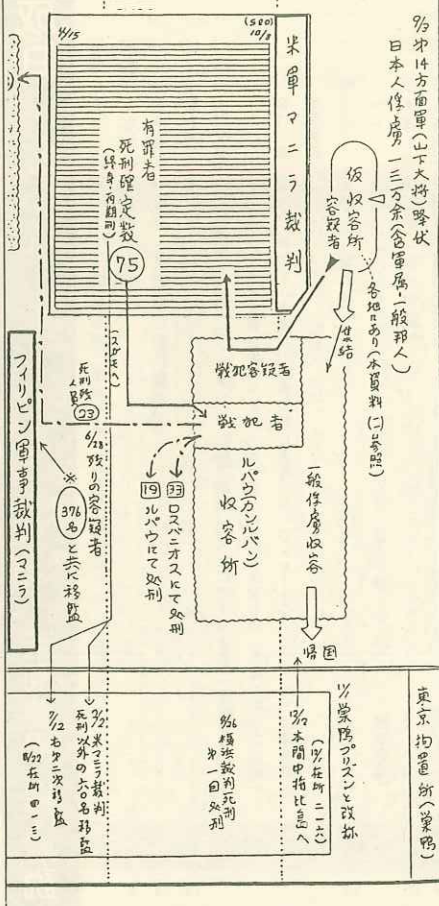
★フィリピン裁判一覽表付

刑務所航空写真



米・比マニラ戦犯裁判関連概略表(茶園作成)

年	事項
1945(5.20)	終戦詔書、昭和本降伏調印式 昭和本降伏命令(口宣) 戦犯捕縛人裁判規程 戦犯多犯罪被告人裁判規程
1946(5.21)	極東国際軍事裁判所条例 山下大将死刑(戦犯判死刑) フィリピン共和国成立
7(5.22)	フィリピン憲法施行 裁判



- (一) 比国軍事裁判の概要
 - (1) モンテンルパ——ニュー・ビリビット刑務所(写真・要図)
 - (2) マニラ占領日誌(朝日新聞)
 - (3) マニラ占領の意義(奥村喜和男)
 - (4) 比島における連合軍俘虜
 - (a) 比島戦線の俘虜(b)パタゴン半島総攻撃(火野葦平) / (c) 比島共和国の独立(昭和十八年) / (d) 比島俘虜・軍抑留者の推移 / (e) 俘虜及び抑留者問題(宇都宮参謀副長) / (f) 終戦と宇都宮参謀副長 / (g) 俘虜キャンプ・スポーツスマン委嘱状(宇都宮直賢)
 - (5) 明暗分けた俘虜二將軍(ウエ中將・山下大将)
 - (6) 比島戦警見
 - (a) 首都マニラに突入(米陸軍ビラ『時事週報』) / (b) 米軍マニラ包囲——日本軍を各個撃破 / (c) 日本陸海軍戦力喪失一覽図(比島方面) / (d) フィリピン戦・地域別戦況 / (e) ルソン島パレテ死亡告知書 / (f) 一個中隊の損耗実情 / (g) 前項(f)の記録原本(ルバウ俘虜にて) / (h) 引揚軍人による死亡現認証明書(書式)
 - (7) 日本降伏す(マニラ米軍ビラ『落下傘ニュース』)
 - (8) 山を下る山下大将(根本 勝)
 - (9) セブ島における終戦と降伏
 - (a) 陸軍第一師団(玉兵衛)降伏式 / (b) 終戦前後の「戦争日誌」(宮内連隊長手記) / (c) 米軍撤布宣伝ビラ / (d) 同宣伝ビラ / (e) 日本軍側照会文書 / (f) 米軍側応答のビラ / (g) 日本軍、友軍への降伏勧告文書
 - (10) 比島における日本兵俘虜収容所(添田裕吉)
 - (11) 比島裁判所構成員一覽表(獄中記録)
 - (12) 比島裁判宣告刑等一覽表(獄中記録)
 - (13) マニラより復員・引揚証明書(今井文太郎)
 - (14) 容疑解除者作業割当表(英文)
 - (15) 祖国に訴う(昭24・比島抑留日本人一同)
 - (16) 大統領特赦声明後一か月(朝日新聞報道特集)
 - (17) 帰還を待ち受けた大群衆(「問天」写真)
 - (18) 戦犯、賠償・感謝決議(津島壽一)
 - (19) 比國、果鴨の戦犯を赦免(朝日新聞)
 - (20) モンテンルパの歌
 - (a) 「ああモンテンルパの夜は更けて」(歌曲) / (b) モンテンルパの大合唱(加賀尾秀忍) / (c) 歌曲の想い出(作詩者・代田銀太郎) / (d) 同(作曲者・伊藤正康) / (e) 同(歌手・渡辺はま子)
 - (21) 比島戦犯法務局の設置及び戦犯被告人の裁判に関する規則・規定(マニラ・マラカニアン宮殿 行政命令第68号)
 - (22) 比軍裁判所・処刑地・刑死者概要図
 - (23) フィリピン戦犯裁判各ケース概要
 - (a) 一虐殺者と十三階段(マニラ・タイムズ記事翻訳)
 - (b) 参考
 - ① 米軍管轄マニラ裁判の概要(茶園義男)
 - ② 獄中記録資料(モンテンルパの会一記録一より)
 - (a) マンダロン残留者地区概数(昭22) / (b) マニラ・マンダロン残留抑留者内訳(昭23) / (c) 比島裁判死刑囚ニュービリビット送致書(昭23) / (d) 教戒師スケジュール文書(昭24) / (e) 刑務所側主催慰安会文書(昭24) / (f) くりすます演奏ぶらわむ(昭24) / (g) 比島裁判決動向概見表 / (h) 日本人役員承認書(昭25)
 - ③ 比島作戦戦犯関係記録(村田三郎平)

BC級戦犯 英軍裁判資料

(上)

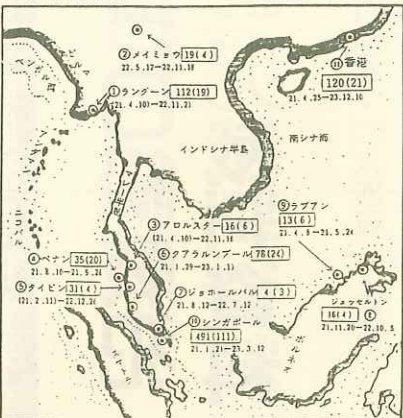
・B5判・二八四頁・上製函入
・本体価格六、八〇〇円

日本南方軍発行の宝くじを巻頭にカラ
ー写真で付し、軍票と宝くじの意義を
解説する。また、河合勲陸軍大尉によ
る「南部インドシナ終戦と其の後」は
終戦時の状況を示す貴重な資料である。
★ビルマ法廷ほか7法廷裁判一覧表付

日本南方軍・軍政監部発行「宝くじ」(昭和18年)



英国戦犯裁判概要図



巻頭(カラー写真)——「興南彩券」(軍発行宝くじ)と英軍雑誌ラベル(狂歌記録)
解説——英軍戦犯裁判の全貌
(一) 戦争裁判地一覧表・英国戦犯裁判概要図
宣戦布告……………14

(二) 新聞報道(朝日新聞ⅡS 16・12・9 夕刊)／(b)南方諸國、諸民族に対する方策(「週報」S 17・2
・25)／(c)ラングーン陥落(朝日新聞ⅡS 17・3・10 夕刊)／(d)国民合唱「今年の燕」(「週報」
S 17・6・3)／(e)新生ビルマ建設の巨歩(朝日新聞ⅡS 17・8・2)／(f)ビルマ方面陸軍最高
指揮官説示(「幻のレコード」(勝利の記録)より)……………12

(三) 南方軍——軍票と「宝くじ」……………23
(四) ビルマ方面(「号一〇ルビー巻」／(b)マレー方面(「号一〇ドル巻」)／(c)「宝くじ」(興南彩券)
日本軍の宣撫伝単(「ビルマ語」……………26
(五) 日本占領下の煙草・軍事郵便とカレンダー……………29
(六) ビルマ煙草／(b)軍事郵便／(c)昭和十八年・ビルマカレンダー(福曆三・四月)……………26

(七) 日本降伏す!!! (英軍機ビラ、タイ国チェンマイにて)……………34
(八) 南部インドシナ終戦と其の後(河合勲)
(a)持ち帰られた越南終戦事情(部分・原本)／(b)南部印度支那治安推移概要……………35
(九) インパール退却戦とムドゥン日本兵抑留所(南君男)……………49

(十) 戦犯容疑(「糞穢」)
(a)ビルマ戦犯処理経過概要(吉田為義中尉記録)……………55
(b)英軍戦犯裁判の概要(ガリ版原本『戦犯裁判の実相』より)……………58
(c)ベナン裁判の実情……………61

(十一) ベナン裁判(寺田浄手記)／(b)ベナン刑務所詳図……………72
(十二) 英国戦犯法令(British Law Concerning Trials of War Crimes——Special Army
Order)……………79

(十三) 戦争裁判概見表(昭和三十年三月一日・厚生省)
(a)英軍戦犯裁判一覧表(除、シンガポール・香港)……………98
(b)ビルマ裁判一覧表……………100
(c)アロルスター裁判一覧表……………110
(d)ベナン裁判一覧表……………112
(e)タイピン裁判一覧表……………116
(f)クララルンブル裁判一覧表……………120

(十四) ジョホールバル裁判一覧表……………130
(十五) ゼッセルトン裁判一覧表……………132
(十六) ラブアン裁判一覧表……………134
△シンガポール裁判⑩及び香港裁判⑪は、下巻収載▽

(十七) タイピン刑務所内生活図(獄中製作・刺繍双六)……………136
(十八) ビルマ(ラングーン)戦犯裁判関係図(茶園作成)……………140
(十九) 死刑待つ心境を托す狂歌集……………138

(二十) 新聞報道(山梨日日ⅡS 62・5・5)／(b)雑誌ラベルの狂歌集(ラベル表面)／(c)同(ラベル裏
面・三十七枚)／(d)獄中寄せ書き(手書き文集「鳩」第二号所収)……………147
(二十一) 東独房朗隣組人物紹介(鈴木喜代司遺書)……………154
(二十二) アーロン収容所秘密通信(ラングーン獄中宛)……………154
(二十三) 遺詠発表会の件／(b)松岡憲兵大尉作「痛恨歌」……………147

(二十四) 留魂録(松岡憲兵大尉)……………154
(二十五) 英領地区戦争犯罪裁判の実相(ガリ版原本『戦犯裁判の実相』より)……………159
(二十六) (一)容疑者の摘発／(二)容疑者に対する取調／(三)未決拘留期の虐待／(四)裁判所／(五)検事側の証拠／(六)
被告側の立場／(七)裁判時間及び通訳／(八)裁判に現れた事件／(九)判決／(十)戦犯裁判の矛盾と同胞
側外地裁判に関する報道と公報の関係(昭22・徳島県世話課業務連絡)……………166

(二十七) 軍務と戦犯指定(ラブアン法廷)……………205
(二十八) 新聞報道(徳島新聞ⅡS 27・7・11)／(b)ラブアン第一号事件概要(鶴羽實夫獄中記①)／(c)ポ
ルネオ・シヤ油田の防衛と放棄／(d)鶴羽實夫獄中記②……………218

(二十九) カラゴン事件四士士の処刑(遠山良作)……………218
(三十) ビルマ戦犯裁判の回顧(外山弁護人)……………226
(三十一) 小田大尉・塩田中尉の最期(上柳田氏資料)……………237
(三十二) 冤罪処刑・片山伍長遺書(ミヤンミヤ事件)……………244

(三十三) (a)靖国神社文書／(b)片山伍長遺書(五枚)／(c)御霊伝達式案内(徳島県知事)／(d)ラングーン裁
判弁護人・飯口元法務大佐書簡／(e)寛書該当者解除申請書(内閣総理大臣宛)……………256
(三十四) ミヤンミヤ事件の真相(岡見中尉遺書)……………256
(三十五) (a)敗戦後第一報／(b)ミヤンミヤ事件概要／(c)絶筆……………256

(三十六) 英領地区戦犯者帰還……………268
(三十七) (a)日赤発行「愛の光」第27号／(b)『すがも新聞』(第一六二号)／(c)南方関係戦犯者歓迎慰問音楽
会プログラム(スガモ・バンド)……………273

付録 スガモ刊行情報①——『世紀の遺書』……………273

BC級戦犯 英軍裁判資料

(下)

・B5判・二七〇頁・上製函入
・本体価格五、八〇〇円

泰緬鉄道の開通記念メダルを巻頭にカラー写真で掲載。特に泰緬鉄道関係の図表を付し、収容所の概要を示す。また、ビルマ、日本語学校についての写真と解説、「自由印度」切手等、極めて珍しい資料を復刻する。

★香港・シンガポール裁判一覧表付



チャンギー監獄独房内唯一の写真
(沼田真蔵氏提供)



『BC級戦犯関係資料集成』①～⑩



『これだけ読めば戦は勝てる』(大本営陸軍部・昭16)

巻頭 (カラー写真) — 泰緬連接鉄道開通記念メダル / (裏面) 泰緬鉄道の歌
北ボルネオ日本功労章

解説 — 『資料集成』中の他巻との関係

(一) 『これだけ読めば戦は勝てる』(大本営陸軍部・昭16) 5

(二) 開戦秘録・六時間の「日・タイ戦」(片山博) 9

(三) 香港島攻略と占領地総督部 31

(四) シンガポール占領(山下司令官声明・邦人等救出) — 朝日新聞 36

(五) 南方戦線の謀略宣伝文書 38

(六) 軍陣新聞(S20・3・3) / (b)戦線ニュース(S20・4・25) / (c)陣中週報(S20・7・14) / (d)曉の決断(S20・7・29) / (e)英通征軍諸君(大日本帝國陸軍) / (参考)日本内地向け謀略はがき 41

(七) 日本「南方軍政」の展開 48

(八) 新聞報道記事(朝日新聞) / (b)陸海軍囑託・顧問・司政長官全名簿(朝日年鑑) 54

(九) 南方における日本軍政とマレー・シンガポール(太田弘毅) 60

(十) 南方軍軍政監部執務規程(南総政密第二六〇号) 63

(十一) ビルマ・日本語学校修業証明書と学校風景 65

(十二) ビルマ・日本語学校教科書編纂経過報告書(秋山修道) 66

(十三) ビルマ・日本語学校教科書の印刷(森本武夫) 76

(十四) 泰緬鉄道関係概括図表 78

(十五) 泰緬鉄道位置図 / (b)泰緬鉄道駅名図(S18・8月末現在) / (c)泰緬鉄道概要 / (d)終戦時全日本軍鉄道部隊 / (e)難所作業地点と全輸送実績 82

(十六) 泰俘虜収容所の便概(矢代亀長) 84

(十七) 泰緬鉄道労働キャンプと郵便取扱所(矢野文彦作表) 86

(十八) 泰・ビルマ俘虜収容所郵便と「金券」(矢野文彦) 91

(十九) 日本軍無条件降伏「TO ALL ALLIED PRISONERS OF WAR」(松中撤布三) 92

(二十) 英軍シンガポール再占領記録(訳・宮元静雄) 107

(二十一) 香港における日本軍の降伏 111

(二十二) 英軍・戦犯容疑者の摘発実情(野田繁志) 116

(二十三) 戦犯特捜II英軍伍長となった日本軍俘虜 124

(二十四) 戦犯特別捜査体験記(元英軍伍長・惣方敏雄) 133

(二十五) 英シンガポール裁判第一号とインド国民軍裁判(服部文孝) 136

(二十六) まぼろしの「自由印度」切手(矢野文彦) 137

(二十七) 英軍・香港裁判一覧表(所屬・階級・個人別) 155

(二十八) 英軍・シンガポール裁判一覧表(所屬・階級・個人別) 177

(二十九) チャンギー刑務所生活日記(佐藤貞貞) 217

(三十) 昭南(シンガポール)島・チャンギー監獄関係要図 226

(三十一) ①全島図 / ②チャンギー監獄周辺図 / ③遺体埋葬地(発掘図) / ④チャンギー監獄構内図 / ⑤Pブロック(死囚収容)平面図 / ⑥独房と監獄外部写真 231

(三十二) チャンギー獄舎の中の詩歌(岡村大尉手帖より) 234

(三十三) 謎の彷徨・ビクトリアポイント部隊 240

(三十四) ①その概要 / ②ビクトリアポイント部隊要図 / ③ピンチー島収容所生活 242

(三十五) アーロン収容所J・S・P・労賃支払書(参考)D・M・P・郵便 244

(三十六) 日本佔領時期死難人民記念碑 247

(三十七) ①建立位置図と建立由来 / ②現況写真と建立場所詳図 / ③記念碑参拝記(織田文二) 250

(三十八) 附録 英国戦犯裁判便概記(国立阿南高専研究紀要) No.24所収 270

B C 級戦犯 米軍上海等 裁判資料

。B5判・二五二頁・上製函入
。本体価格六、八〇〇円

本資料集③⑤の両書以外の米軍事裁判は、上海・グアム・クエゼリン各法廷である。上海法廷は、日本初空襲のドリットル部隊の搭乗員処刑問題を含む裁判。「支那地域米陸軍司令部・戦争犯罪人裁判規程」等を掲載。
★上海・グアム・クエゼリン裁判一覧表付

米軍戦犯裁判法令について

ここに収録する法令は、法務大臣官房司法法制調査部の『戦争犯罪裁判関係法令集（戦争犯罪裁判資料第3号）』第Ⅲ巻（1967年）からのものであるが、の中にはここに掲げる法令のほか、次の二点がある。

その二点については、本戦犯資料シリーズにおいて、既発表であるので、本書との関係上、これを明らかにしておく。

- ◎太平洋地域アメリカ合衆国陸軍総司令部，1945年9月24日，戦争犯罪人裁判規程
(General Headquarters, United States Army Forces, Pacific, 24 September 1945, Regulations Governing the Trial of War Criminals)
〔資料集成⑥『B C 級戦犯米軍マニラ裁判資料』(不二出版・1986刊) 所収〕
- ◎連合国軍最高司令官総司令部，1945年12月5日，戦争犯罪被告人裁判規程
(General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 5 December 1945, Regulations Governing the Trials of Accused War Criminals)

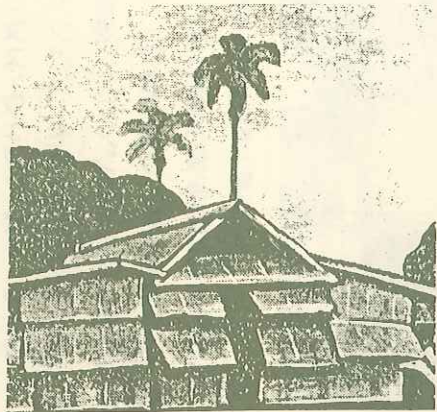
(一)	戦犯問題と軍法・軍令・軍律……………	15
(一)	日本初空襲事件顛末……………	5
	解説/a ①帝都空襲新聞報道(昭17・4・18)、a ②同(昭17・4・19)、a ③日本空襲B29の残骸展示(昭17・4・26) / b、空襲軍律制定事情(東京裁判―東条英機問拔卒) / c、敵航空機搭乗員処罰ニ関スル軍律(支那派遣軍総司令部) / d、米機(ドリットル部隊)搭乗員軍律会議と処刑 / e、同処刑新聞報道(昭17・10・20) / f、昭和十八年四月二十二日・米國抗議文(瑞西駐日公使書翰) / g、赤十字國際委員会「報復並ニ戦争方法ニ関スル件」(昭18・12・30発) / h、米軍上海法廷における飛行士処刑事件……………	36
(二)	外務省資料に見る寿府条約準備用声明事情……………	36
	解説/a、昭16・12・27在京瑞西公使発東郷外務大臣宛書翰(米文書取継) / b、日本の寿府条約遵守声明につき申入れ(英・加・豪・新西蘭) / c、同右(米政府)―外務省公文「条三普通合第五三三号」 / d、同右(南連運邦)―同「条三普通合第八五号」 / e、在京瑞西公使発東郷外務大臣宛書翰(前文書dに添付) / f、前文書eの外務省仮訳文 / g、外務省の照会に対する陸軍次官回答(昭17・1・23) / h、同じく海軍次官回答(昭17・1・25) / i、昭17・1・29付東郷外務大臣発在京瑞西公使宛書翰 / j、寿府条約準備用声明に関する須磨西班牙公使宛外相宛電信(昭17・2・13午後七時) / k、寿府條約適用についての意見(昭・17・3・9日本赤十字社) / l、戦争方法ニ関スル赤十字國際委員会ノ勧告ニ関スル件(昭19・1・6) / m、〔参考〕昭和九年・寿府条約批准ニ関スル海軍次官意見……………	80
(三)	赤十字國際委員会代表視察状況報告書(奉天俘虜収容所)……………	75
(四)	極秘・香港俘虜収容所・俘虜取締規約(香港占領地総督)……………	59
(五)	大東亞戦争終結始末……………	80
(六)	a、日本軍各地停戦・降伏等年表 / b、同概略地図(aと照合) / c、ポツダム宣言受諾第一電(昭20・8・10午前6・45発) / d、陸海軍人に勅語(朝日新聞) / e、陸海軍示達・停戦について(同前) / f、停戦伝達皇族派遣(同前)・陸軍訓示 / g、停戦交渉・連絡授校の手記(宮岡常夫) / h、日本降伏文書・同邦訳文 / i、降伏文書に関する詔書 / j、アングタマン諸島日本軍降伏文書 / k、ニコバル諸島日本軍降伏文書 / l、マリアナ諸島・ロク島の日本軍降伏……………	109
(七)	「ライフ誌」六つのお問答「日本はなぜ強い？」(訳・服部運朗)……………	100
(八)	サイパン島最後の降伏……………	109
(九)	a、降伏に至る経緯(畑中春三) / b、サイパン島玉砕の報道(朝日新聞) / c、サイパン島残存兵に対する降伏命令書(提供・大場栄)……………	109
(十)	グアム戦犯裁判一覧表……………	118
(十一)	クエゼリン戦犯裁判一覧表……………	130
(十二)	上海戦犯裁判一覧表……………	132
(十三)	クエゼリン法廷・ミレ島事件……………	137
(十四)	グアム島戦犯収容所番兵の暴状……………	146
(十五)	日本陸軍における国際法教育(喜多義人)……………	150
(十六)	日本占領・幻の軍政切手・と軍票……………	167
(十七)	a、軍政切手と軍票(AMC)原寸図 / b、日本占領・幻の軍政切手 / c、マ司令部との軍票交渉 / d、マ元帥の忌憚にふれた外相の軍票談 / e、円表示軍票に関する報道 / f、マ元帥の非難声明と重光外相辞職報道 / g、大蔵省「日曜日声明」ピラ(昭20・9・16)と軍票回収報道(昭20・12・6)……………	150
(十八)	米軍戦争犯罪裁判法令集……………	187
(十九)	(1) Headquarters Eighth Army, United States Army, Office of the Commanding General, 5 February 1946, Rules of Procedure and Outline of Procedure for Trials of Accused War Criminals (米第八軍司令部「一九四六年二月五日、戦争犯罪人裁判の手続規程及び手続概要」)……………	188
(二十)	(2) Headquarters Eighth Army, United States Army, Office of the Commanding General, 16 January 1947, Rules of the Procedure and Outline of Procedure for Trials of Accused War Criminals (米第八軍司令部「一九四七年一月一六日、戦争犯罪被告人の手続規程及び手続概要」)……………	193
(二十一)	(3) Headquarters, United States Forces, China Theater, 21 January 1946, Regulations Governing the Trial of War Criminals (支那地域米陸軍司令部「一九四六年一月二一日、戦争犯罪人裁判規程」)……………	194
(二十二)	(4) United States Pacific Fleet, Commander Marianas, 5 April 1946, Precept for a Military Commission (米太平洋艦隊、マリアナ方面司令官、「一九四六年四月五日、軍事委員会召集命令書」)……………	197
(二十三)	(5) Commander Marianas, Trial Procedure—War Crimes Trials (マリアナ方面司令官、裁判手続―戦争犯罪裁判)……………	199
(二十四)	(6) United States Law and Practice Concerning Trials of War Criminals by Military Commissions, Military Government Courts and Military Tribunals (軍事委員会、軍政府裁判所及び軍事裁判所による戦争犯罪人の裁判に関する米国の法律及び実務について)……………	201
(二十五)	※ General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 27 December 1946, Amendments to Regulations Governing the Trials of Accused War Criminals (連合国軍最高司令官総司令部「一九四六年十二月二七日、戦争犯罪被告人裁判規程改正」)……………	214
(二十六)	付録 米軍戦犯裁判梗概記……………	251

BC級戦犯 豪軍ラバウル 裁判資料

・B5判・二七四頁・上製函入
・本体価格六、八〇〇円

豪軍が実施した戦犯裁判法廷は八力所で、本書はそのうちラバウル法廷を扱う。「戦争犯罪人の裁判及び処罰を規定する法律」(一九四五年・英文和文)を、本資料集成⑬と共に連載する。全法廷二〇三件の所屬・階級等を網羅。

★ラバウル裁判一覧表付



ラバウル戦犯裁判所

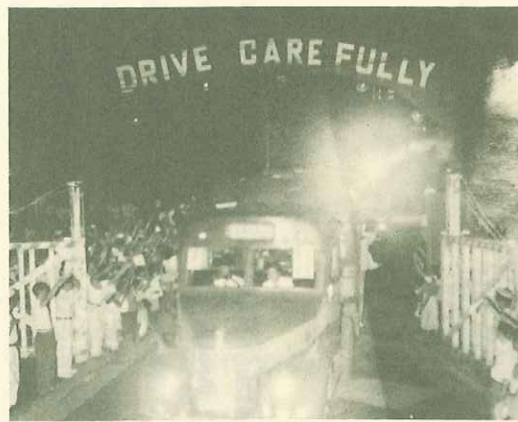
巻頭写真(無咎を解き手を載くべし)・「日光章」
解説——豪軍戦犯裁判をめぐって(茶園義男)..... 5
(一)ニューブリテン島(ラバウル方面)兵要地誌資料図..... 16
(二)南東太平洋戦闘状況報道記事(朝日新聞)..... 18
(三)聯合艦隊司令長官山本元帥戦死..... 26
(a)新聞報道(朝日新聞S 18・5・22) / (b)山本元帥機墜落地点地図 / (c)山本長官機墜
墜(上田覆画) / (d)山本機墜現場状況図 / (e)搜索隊隊長に対する聯合艦隊参謀の
感謝状 / (f)搜索隊隊長浜砂少尉手記..... 26
(四)南東太平洋方面における米軍の反攻..... 35
(a)同方面日本陸軍配備図 / (b)経過概略地図 / (c)ガタルカナル島の地理・作戦 / (d)戦
況報道記事(朝日新聞)..... 35
(五)南東太平洋の日本軍降伏..... 55
(a)降伏調印式 / (b)降伏文書(英文・邦文) / (c)終戦時の同地域日本陸軍的戦力 / (d)
終戦時の部隊配備と戦後収容所(集団番号)..... 55
(六)終戦後のラバウル日本陸海軍集団..... 60
(a)各集団別人員表 / (b)終戦後におけるラバウル地区陸海軍配置要図 / (c)終戦時南東
方面陸海軍将官名表 / (d)ラバウル方面陸海軍最高指揮官揮毫 / (e)戦後ラバウル地区集
団生活点描 / (f)収容所(集団)における演劇プログラム..... 60
(七)ラバウル戦犯裁判梗概(上田庄次)..... 70
(八)ラバウル戦犯裁判関係図表..... 73
(a)裁判関係地点図 / (b)ラバウル戦犯収容所図面(有竹英夫) / (c)囚獄スケッチ及び平
面図 / (d)弁護団宿营地及び弁護団名表 / (e)ラバウル戦犯裁判所(田の浦)スケッチと
豪軍裁判関係者..... 73
(九)ラバウル裁判一覧表..... 79
(a)今村大將法廷提出文書(豪軍法廷証拠A・3・4・5)..... 144
(b)ラバウル戦犯収容所と私の戦犯裁判(有竹英夫)..... 144
(c)ラバウル方面民政部員の記録(岩永賢一)..... 156
(d)豪戦犯法規(A)(英文・邦文)..... 161
1.No. 48 of 1945, An Act to Provide for the Trial and Punishment of War
Criminals (Cited as the War Crimes Act 1945)..... 166
2. Copy of Instrument of Appointment Referred to in Definition of "War Crime" in
Section 3, War Crimes Act 1945..... 173
3. Statutory Rules 1945 No. 164, Regulations under the War Crimes Act 1945..... 176
(a)ラバウル戦犯の真相(片山日出雄)..... 185
第一章 濠洲戦犯裁判の状況(本項頁1)..... 187
第二章 濠洲のボルネオに於ける戦犯容疑者に対する取扱(本項頁10)..... 196
第三章 濠洲のタロキナに於ける戦犯容疑者に対する取扱(本項頁18)..... 204
第四章 アンボン島に於ける取扱(本項頁27)..... 213
第五章 モロタイ島収容所(本項頁29)..... 215
第六章 ラバウル収容所(本項頁46)..... 232
第七章 戦犯裁判に対する批判(本項頁70)..... 256
付録 旧海軍諸学校における国際法教育(宮多義人)..... 260

事件名	起訴理由概要	所屬階級本籍	氏名	判決	執行	備考
殺 人	昭和八年四月より八月に於ける南東太平洋方面の戦況に於ける暴行及び略奪の事	少佐	松○望○野	終身	昭和十八年三月	山○
強 姦	昭和九年十月より十一月に於ける南東太平洋方面の戦況に於ける暴行及び略奪の事	少佐	松○勝	終身	昭和十八年三月	山○
構 間	昭和九年十月より十一月に於ける南東太平洋方面の戦況に於ける暴行及び略奪の事	少佐	松○勝	終身	昭和十八年三月	山○

BC級戦犯 豪軍マヌス等 裁判資料

。B5判・二七七頁・上製函入
。本体価格六、八〇〇円

豪軍裁判法廷は、本資料集成⑬のほか
マヌス・ウエワク・ポートダーウィン・
アンボン・モロタイ・シンガポール・
香港・ラフアンの七カ所があり、本書
で一括取り扱う。全戦争裁判中、豪軍
マヌス裁判が最後の法廷である。
★マヌス等裁判一覽表付



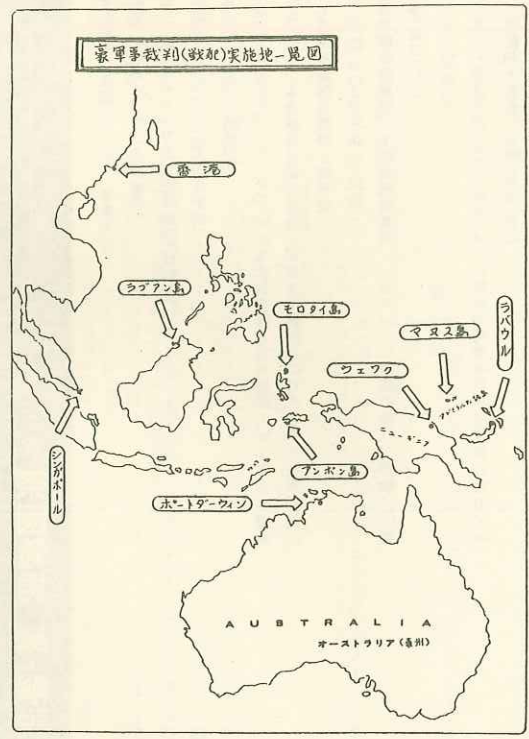
スガモに帰着したバス (写真提供・織田文二)



マヌス帰還者をスガモに迎える
写真中に、A級戦犯荒木・賀屋・佐藤・
橋本 岡氏の姿がみえる。出迎え真中の
白セビロ清瀬氏(?)、最右端白服織田氏

解説

- (一) 臺北・中部南東方面参考図 10
- a. 陸軍配備一所属関係図 / b. 海軍根拠地宛名記号一覽図 4
- (二) 玉碎のアドミラル諸島(主島マヌス)地誌と戦闘 12
- (三) 兵士死亡報告電文(南洋第四支隊長) 29
- (四) ニューギニア20師団・土人工作隊の終戦(福家隆) 30
- (五) 豪戦犯法規【B】(英文・邦文) 32
- (1~3は前巻に【A】として収載)
- 4. Statutory Rules 1946 No. 30. Regulations under the War Crimes Act 1945(制
 定法による規則 一九四六年第三〇号 一九四五年戦争犯罪法による規程) 33
- 5. Statutory Rules 1946 No. 56. Regulations under the War Crimes Act 1945(制
 定法による規則 一九四六年第五六号 一九四五年戦争犯罪法による規程) 34
- 6. Australian Law Concerning Trials of War Criminals by Military Courts(軍事裁
 判所による戦争犯罪人の裁判に関するオーストラリアの法律について) 35
- (六) 連合軍戦犯裁判の実態を暴く(香港裁判) 43
- (七) マヌス裁判一覽表 52
- (八) ウエワク裁判一覽表 64
- (九) ポートダーウィン裁判一覽表 66
- (一〇) アンボン・モロタイ裁判一覽表 68
- (一一) シンガポール裁判一覽表 80
- (一二) 香港裁判一覽表 80
- (一三) ラフアン裁判一覽表 94
- (一四) 豪軍・戦犯収容所概要 106
- a. 豪軍事故判実施一覽図 / b. マヌス収容所 / c. モロタイ・アンボン収容所 /
 d. シンガポール(チャングー・オートラム)監獄 / e. ラフアン・香港収容所 111
- (一五) マヌス島訪問記(スタンレー記者・朝日新聞) 113
- (一六) マヌス島帰還者出迎え前後の文書類 113
- a. 比島・マヌス島帰還者の迎入れについて(集勲運営委員会) / b. マヌス島帰還
 者の受入れについて(同前) / c. マヌス島帰還者到着時係分担表(同前) / d. マヌ
 ス島帰還当日職員配置表(刑務所当局) / e. 報道関係の皆様へ(集勲運営委員会) /
 f. 留守担当者への報知(集勲刑務所長) / g. マヌス島より集勲への移管名簿(刑
 務所当局) / h. マヌス島戦犯受刑者引取携行物資(同前) / i. マヌス島各係行
 動一覽表(同前) / j. 白竜丸到着時埠頭配置図(同前) / k. マヌス島帰還者名簿
 (面会室指定) / l. マヌス島からスガモまで / m. 「マヌス島戦犯帰る」(朝日新聞)
 / n. スガモに到着したマヌス島帰還者(織田文二) / o. 「集勲ちかごろの動き」(朝
 日新聞) 133
- (一七) 今村元大將スガモ出所の挨拶文(織田文二) 140
- (一八) イドレケース(マヌス法廷第四号事件) 204
- a. 検事冒頭陳述書 / b. d. 宣誓供述書(検察側) / e. k. 宣誓供述書(弁護側) 204
- (一九) メルグイケース(マヌス法廷第十四号事件) 248
- a. 検察側宣誓供述書 / b. 弁護側宣誓供述書 261
- (二〇) 国際軍事裁判所条例 275
- (二一) 極東国際軍事裁判所条例 275
- (二二) 付録 海軍軍事郵便宛名考(矢野文彦) 275



BC級戦犯 中国・仏国 裁判資料

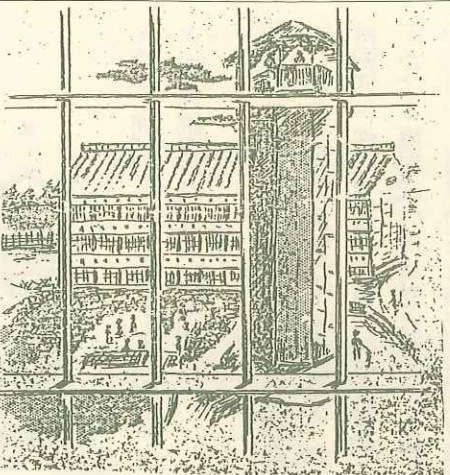
・B5判・三二〇頁・上製函入
・本体価格九、八〇〇円

中国（国民政府）の戦犯裁判は十法廷で、広東法廷は本資料集成②として刊行されているので、漢口等九法廷を本書で扱う。また仏国の裁判はサイゴン法廷のみである。

★漢口裁判ほか8法廷裁判一覽付
★仏国（サイゴン）法廷一覽付

戦犯容疑者収容所の西貢刑務所（サイゴン軍事情務所）

※各法廷の一人一法廷元寇の法廷審判が録音から24時間録音された風情（記録の正確性は不明）



解説

中国戦犯裁判

- (一) 大東亜戦争（太平洋戦争）の終結と中国
 - (a) 支那派遣軍降伏式まで / (b) 三井物産社員の見た終戦直後の台湾事情 / (c) 広東入城の中国軍
- (二) 戦犯容疑者を残して引揚・復員
 - (a) 戦犯に指定さる（斉藤弼州） / (b) 終戦時外地部隊人員と海外戦犯・容疑者 / (c) 引揚に関するGHQ指令（SCAPIN 1927） / (d) 在支那人補遺参考資料（昭和20・9・5日大東亜省） / (e) 在支・満・南方邦人ノ引揚（集結状況）大東亜省文書 / (f) 昭20・11・10米電「上海邦人集結状況」（大東亜省文書）
- (三) 中国戦犯に関する記録
 - (a) 「放りゆきし戦犯」二部作全目次紹介 / (b) 中国戦犯関係記録「足枷のひびき」
- (四) 中華民國・戦争犯罪裁判法令
 - 1. 敵人罪行調査弁法
 - 2. 敵人罪行種類表
 - 3. 戦争罪犯処理弁法
 - 4. 戦争罪犯審判弁法
 - 5. 戦争罪犯審判弁法施行細則
 - 6. 戦争罪犯審判条例
 - 7. 随時適用された——(1)刑法 (2)行政訴訟法 (3)陸海空軍刑法

(五) 中国戦争犯罪裁判概見表 120

- (1) 漢口裁判一覽表
- (2) 北京裁判一覽表
- (3) 瀋陽裁判一覽表
- (4) 南京裁判一覽表
- (5) 濟南裁判一覽表
- (6) 徐州裁判一覽表
- (7) 上海裁判一覽表
- (8) 台北裁判一覽表
- (9) 太原裁判一覽表

（注）い、ま一つの「広東裁判一覽表」は「資料集成②」

- (六) 軍監獄脱走事件と漢奸裁判
 - 広東裁判補遺
 - (終戦の年からの広東に於ける思い出 / (b) 獄中から甦った日本兵
- (七) 瀋陽裁判「平頂山事件」
 - (a) 平頂山事件戦犯容疑者とその最期 / (b) 平頂山事件「判決書」(中国語原文)
- (八) 漢口裁判・奈良中将知友提出嘆願書(日文章稿) 214
- (九) 漢口裁判・古川武関係法廷文書 207
- (二) 中国関係戦犯者とスガモブリズン 223
 - (a) 所持品検査(獄中マンガ) / (b) 演芸会交流プログラム / (c) 日華条約と対日平和条約第十一条 / (d) 中国関係戦犯者釈放 / (e) スガモ印刷物にみる中国監獄点描

仏国戦犯裁判——西貢（サイゴン）法廷

- (一) 戦犯容疑・戦犯者収容所
 - 仏印地区戦争裁判の実相
 - 仏国関係戦犯者帰国
- (二) 仏国戦犯裁判関係法規類
 - 1. 戦争犯罪取締に関するオールドナンス
 - 2. 右第一条に引用の仏刑法及び同軍事裁判法の諸条文
 - 3. 一九五五年七月付在仏特命全權大使兼外務大臣宛戦争犯罪裁判に關連した仏国側の回答についての報告書抜萃
 - 4. 独国内仏占領地域における軍事裁判所及び軍政府裁判所による戦争犯罪人の裁判に關する仏国の法律について
- (三) 仏国戦犯裁判一覽表 237
- (四) 戦争裁判参考書(第一復員省) 213

獄中紙の復刻版(昭和23年↓27年)

すがも新聞 全2巻

獄中における戦犯の生の声を伝える！。 解説——内海愛子

・A4判・八五〇頁・上製函入・年表総目次付
・本体価格二八、〇〇〇円

・推薦——栗屋憲太郎・幼方直吉
茶園義男・茶本繁正

BC級戦犯

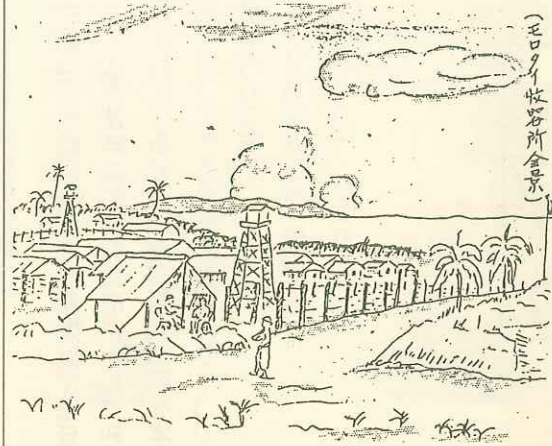
和蘭裁判資料

・全巻通覧

・B5判・三二二頁・上製函入
・本体価格九、八〇〇円

和蘭(オランダ)の実施した戦犯裁判は、バタビア法廷ほか十一カ所で、合計四四一件、全被告人、〇三八名である。本資料成の最終巻として、全巻の総目次・誤植訂正と補充、および補遺を掲載する。

★バタバヤ裁判他11法廷一覽付



茶園義男・重松一義 共著

補完 戦犯裁判の実相

BC級戦犯の全被告氏名と裁判内容、及びその判決等を伝える唯一の資料。新資料を駆使し、解説を付す。『復刻版・戦犯裁判の実相』を補う。〔87年8月刊〕
B5判・二五〇頁・本体価格五、〇〇〇円

本パンフレットの価格は、消費税を含んでおりません。

解説	5
Ⅰ 和蘭戦犯裁判	
(一) オランダ戦犯裁判の実相	10
(二) 裁判・収容所・処刑	20
(三) 蘭印戦犯者帰還	31
(四) 戦争犯罪に関する和蘭法令類	33

(一) 司法関係・戦争犯罪——戦争犯罪の概念規定(蘭領印度法令公報・一九四六年第44号)	83
(二) 司法関係・戦争犯罪——戦争犯罪刑法(蘭領印度法令公報・一九四六年第45号)	84
(三) 司法関係・戦争犯罪——「戦争犯罪刑法」に関する総督令(法令公報一九四六年第45号)第九条の改正(蘭領印度法令公報・一九四七年第16号)	124
(四) 司法関係・戦争犯罪——戦争犯罪の裁判権(蘭領印度法令公報・一九四六年第46号)	146
(五) 司法関係・戦争犯罪——戦争犯罪訴訟(蘭領印度法令公報・一九四六年第47号)	148
(六) 戦犯裁判・和蘭法廷全一覽表	158
(七) 戦犯裁判・和蘭法廷全一覽表	160
(八) バタバヤ臨時軍法会議	170
(九) マダダン臨時軍法会議	180
(十) タンジョンピナン臨時軍法会議	184
(十一) ボンボン臨時軍法会議	188
(十二) アンボン臨時軍法会議	194
(十三) メナド臨時軍法会議	204
(十四) モロタイ臨時軍法会議	212
(十五) ホーランジア臨時軍法会議	222

Ⅱ 資料集成全巻通覧

(A) BC級戦犯関係資料総目次	264
BC級戦犯関係資料集成	264
①日本BC級戦犯資料	268
②BC級戦犯軍事法廷資料	268
③BC級戦犯横浜裁判資料	268
④東鴨ブリズン・シベリア日本新聞	268
⑤BC級戦犯米軍マニラ裁判資料	268
⑥大日本帝国(内地)俘虜収容所	268
⑦大東亜戦下(内地)俘虜収容所	268
⑧BC級戦犯フィリピン裁判資料	268
⑨BC級戦犯英軍裁判資料	268
⑩BC級戦犯英軍裁判資料	268
⑪BC級戦犯米軍上海等裁判資料	268
⑫BC級戦犯ラバウル裁判資料	268
⑬BC級戦犯豪軍裁判資料	268
⑭BC級戦犯中国・仏国裁判資料	268
⑮BC級戦犯和蘭裁判資料	268
全巻通覧	268
(B) 資料集成全十五巻中訂正・補充	268
BC級戦犯関連図書	268
①「戦争犯罪統計表」	268
②「日露戦争時」	268
③「日露戦争時」	268
④「日露戦争時」	268
⑤「日露戦争時」	268
⑥「日露戦争時」	268
⑦「日露戦争時」	268
⑧「日露戦争時」	268
⑨「日露戦争時」	268
⑩「日露戦争時」	268
⑪「日露戦争時」	268
⑫「日露戦争時」	268
⑬「日露戦争時」	268
⑭「日露戦争時」	268
⑮「日露戦争時」	268
⑯「日露戦争時」	268
⑰「日露戦争時」	268
⑱「日露戦争時」	268
⑲「日露戦争時」	268
⑳「日露戦争時」	268
㉑「日露戦争時」	268
㉒「日露戦争時」	268
㉓「日露戦争時」	268
㉔「日露戦争時」	268
㉕「日露戦争時」	268
㉖「日露戦争時」	268
㉗「日露戦争時」	268
㉘「日露戦争時」	268
㉙「日露戦争時」	268
㉚「日露戦争時」	268
㉛「日露戦争時」	268
㉜「日露戦争時」	268
㉝「日露戦争時」	268
㉞「日露戦争時」	268
㉟「日露戦争時」	268
㊱「日露戦争時」	268
㊲「日露戦争時」	268
㊳「日露戦争時」	268
㊴「日露戦争時」	268
㊵「日露戦争時」	268
㊶「日露戦争時」	268
㊷「日露戦争時」	268
㊸「日露戦争時」	268
㊹「日露戦争時」	268
㊺「日露戦争時」	268
㊻「日露戦争時」	268
㊼「日露戦争時」	268
㊽「日露戦争時」	268
㊾「日露戦争時」	268
㊿「日露戦争時」	268
(C) 戦争・戦争犯罪関係補遺	268
①「戦争犯罪統計表」	268
②「日露戦争時」	268
③「日露戦争時」	268
④「日露戦争時」	268
⑤「日露戦争時」	268
⑥「日露戦争時」	268
⑦「日露戦争時」	268
⑧「日露戦争時」	268
⑨「日露戦争時」	268
⑩「日露戦争時」	268
⑪「日露戦争時」	268
⑫「日露戦争時」	268
⑬「日露戦争時」	268
⑭「日露戦争時」	268
⑮「日露戦争時」	268
⑯「日露戦争時」	268
⑰「日露戦争時」	268
⑱「日露戦争時」	268
⑲「日露戦争時」	268
⑳「日露戦争時」	268
㉑「日露戦争時」	268
㉒「日露戦争時」	268
㉓「日露戦争時」	268
㉔「日露戦争時」	268
㉕「日露戦争時」	268
㉖「日露戦争時」	268
㉗「日露戦争時」	268
㉘「日露戦争時」	268
㉙「日露戦争時」	268
㉚「日露戦争時」	268
㉛「日露戦争時」	268
㉜「日露戦争時」	268
㉝「日露戦争時」	268
㉞「日露戦争時」	268
㉟「日露戦争時」	268
㊱「日露戦争時」	268
㊲「日露戦争時」	268
㊳「日露戦争時」	268
㊴「日露戦争時」	268
㊵「日露戦争時」	268
㊶「日露戦争時」	268
㊷「日露戦争時」	268
㊸「日露戦争時」	268
㊹「日露戦争時」	268
㊺「日露戦争時」	268
㊻「日露戦争時」	268
㊼「日露戦争時」	268
㊽「日露戦争時」	268
㊾「日露戦争時」	268
㊿「日露戦争時」	268

茶園義男 編・解説

俘虜ニ関スル諸法規類聚

昭和十八年十一月、俘虜情報局刊行の同書を完全復刻し、あわせて、「俘虜情報局官制」等の法規類をまとめる。戦犯裁判のひとつの争点、俘虜取扱いの問題に不可欠の資料。〔88年11月刊〕
B5判・四二〇頁・本体価格六、五〇〇円

弊社は注文制です。お近くの書店へご注文下さい。

不二出版

〒113 東京都文京区向丘一丁目二二番
TEL 〇三三 八二一 四四三三
FAX 〇三三 八二一 四四六四
振替 〇三三 八二一 四四六四